

公表

保育所等訪問支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	コロル城東			
○保護者評価実施期間	令和 6 年 8 月 1 日		～	令和 7 年 7 月 20 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数)	4名
○従業者評価実施期間	令和 6 年 8 月 1 日		～	令和 7 年 7 月 20 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数)	15
○訪問先施設評価実施期間	令和 6 年 8 月 1 日		～	令和 7 年 7 月 20 日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	13	(回答数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7 年 7 月 29 日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	訪問先の担当の先生方と、丁寧な面談や情報共有を行い、児童の成長・課題についての検討を行なっていること。	施設での児童の様子について、職員間で共有し、集団生活の中でできそうな対応やサポートの方法についてあらかじめ検討した上で、訪問に何ようしています。	面談の時間を十分に確保することが難しい場合も多いため、日常的にこまめに連絡を取れる関係性を築いていく。
2			
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問する支援員によって、質問への回答や相談への対応度合いに変動が出てしまうこと。場合によっては施設に持ち帰り、後日回答という形になることもある。	職員の入れ替わりにより、同一職員が園や保護者とやりとりを継続することが難しい場合もある。 訪問支援に対する学習の機会が少ない。	外部研修や施設内・社内研修の機会を設け、スキルアップと対応力の向上に努めていく。
2			
3			